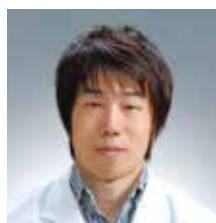


安藤眼科医院理念

高度な医療 そして やさしい心配り  
患者様の明るい世界、輝く笑顔が見たいから成長し続けます



院長  
安藤 浩

「愛 to eye」をお手に取っていただきありがとうございます。激しい梅雨をのりこえて、夏が近づいています。安藤眼科医院の駐車場はツバメたちのとても良い狩り場になっているらしく、いつもたくさんのツバメが飛び交っています。残念なことに、当院の建物の壁は光触媒でツバメの巣材が吸着できない作りになっているので、建物本体に巣を作ることはできません。クリニックとしては清潔で喜ばしいことなのですが、少し寂しい気もします。ツバメが無理な代わりに、来年は建物から離れた木にシジュウカラ用の巣箱を作ってみようと思っています。

## 新たにレーザー装置 PASCAL Synthesis を導入



副院長  
江口 亮

今回、新しく導入されたレーザー装置：PASCAL Synthesisは今まで使用していたPASCALの後継機種です。短時間に複数箇所のレーザー照射が行えるために従来型のレーザー装置に比べて治療時間が短く痛みが少ないという前機種の特徴はそのままに、本機種では新たに開放隅角緑内障に対してレーザー照射により発生する温熱効果を利用し房水流出の抵抗を軽減させて眼圧下降効果を得るというPSLT (pattern Scanning Laser Trabeculoplasty) という治療を行うことが可能となりました。すべての緑内障の患者さんが対象となる治療法ではありませんが、点眼剤による治療、手術とは違う第3の緑内障治療法として今後皆様の治療のお役に立てるものと考えております。



## 『飛蚊症』ってなに？



医長  
戸野塚 敏恵

“黒いもやもやが見える”  
“糸くず・クモの巣みたいなものが見える”“墨が流れて見える”などの症状を飛蚊症といいます。飛蚊症はさまざまな原因で起こりますが、その多くは加齢性変化です。眼球内を満たす硝子体という組織が変化することにより生じる

症状なのですが、その変化は40歳過ぎから認められ、70歳代では70%程度に認められると言われています。加齢性変化による飛蚊症は『生理的飛蚊症』といい、治療の必要はありません。

その一方、飛蚊症の原因には、網膜裂孔・網膜剥離・硝子体出血などがあります。これらの疾患は治療が必要です。治療を受けないと視力障害等を残すことがあります。

飛蚊症を自覚したら、必ず眼科を受診しましょう。



検温、手指のアルコール消毒、マスクの着用にご協力ください

当院職員のコロナウイルスワクチン接種は完了いたしました

### 外来診療表

		月	火	水	木	金	土
<b>安藤眼科医院</b> 〒258-0003 足柄上郡松田町松田惣領965-1 TEL 0465-83-4545	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	×
<b>安藤眼科医院小田原クリニック</b> 〒250-0862 小田原市成田168 TEL 0465-38-0344	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	×	手術	手術	手術	手術	×
<b>安藤眼科医院南足柄クリニック</b> 〒250-0105 南足柄市関本569 ヴェルミ2 1F TEL 0465-73-1515	午前	×	○	×	○	○	×
	午後	×	○	×	○	×	○

★当院は予約優先となっております。受診ご希望の際は、事前にお電話でお問い合わせください。